

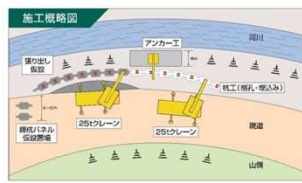
技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	安全・防災 維持管理 環境 コスト ICT 品質 （該当分類に○を付記）		
技術名称	親杭パネル壁	担当部署	PC壁体・擁壁営業部
NETIS登録番号	CB-990007-V	担当者	三島嘉裕
社名等	日本コンクリート工業（株）	電話番号	03-3452-1052
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機 親杭パネル壁 長大切土法面や基礎掘削が多くなる急峻地形での道路や敷地の拡幅工事において、切土や残土発生を抑制できる工法です。		
	2. 技術の内容 親杭パネル壁 親杭とコンクリートパネル(親杭パネル)を一体化した壁体で、景観を配慮した土留め壁や遮音壁等に使用できます。グラウンドアンカーやタイロッドを併用することで高壁高での対応も可能です。		
	3. 技術の効果 親杭パネル壁 ・大規模掘削が不要 ・現場条件に合わせた施工方法 ・補助工法併用で高壁高に対応可能 ・背面土に発生残土や軽量盛土材の使用が可能 ・景観を配慮した壁面化粧が可能		
	4. 技術の適用範囲 親杭パネル壁 4m程度の壁高まで対応可能(自立式) 10m程度の壁高まで対応可能(控え式)		
	5. 活用実績 国の機関 42 件（九州 2件、九州以外 40件） 自治体 195 件（九州 49件、九州以外 146件） 民間 12 件（九州 2件、九州以外 10件）		

6. 写真・図・表

● 施工プロセス



標準の施工手順

1

切土工・基礎工

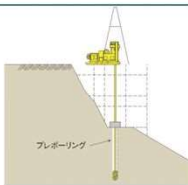
地表面削り、整地を行い、観形パネルが安定して据付けられるように、基礎コンクリートを打設します。



2

杭工 (削孔)

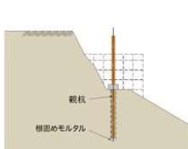
削孔 (削孔)には、定場を必要とする大径掘削機と、定場を必要としない移動式クレーン方式があります。



3

杭工 (建込み)

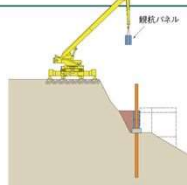
削孔の建込み・取組のモルタル注入



4

観形パネル設置・中詰め工

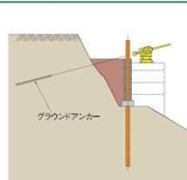
観形パネル設置・中詰めモルタル打設・背土盛土・仮設躯体を行います。



5

アンカー (タイロッド) 工 (削孔・定場)

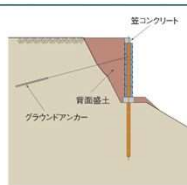
アンカーには、グラウンドアンカー・タイロッド工を選択することができます。(背土盛土後にアンカーを施工することもあります)



6

笠コンクリート・背面盛土工

背面盛土・アンカー緊張・笠コンクリート打設。背面盛土材には、養生土の他に土圧低減がかけられる硬質盛土材があります。



7

完成



● 施工写真

